

産業動物における教育・研究・臨床の最前線

産業動物分野における獣医療において、獣医師不足は喫緊の課題である。その要因に獣医学教育において産業動物診療の意義や魅力について知る機会の少なさがあり、さらに卒後教育の充実や最先端の獣医療技術の取得が求められている。

本プログラムは、日本全国より産業動物を対象として教育、研究、臨床に従事されている専門職業人を招聘し、産業動物臨床に携わる専門職業人像について講演頂く。

第3回

「30代産業動物獣医師が挑む卒後教育と研究」

*卒後教育、ウシ子宮内膜炎の研究を通して、産業動物獣医師の醍醐味についてご講演頂きます

講師：鈴木 貴博 先生

(北海道農業共済組合連合会 技術副主幹)



日時：平成24年8月25日(土)13:30-17:30

場所：宮崎大学農学部獣医棟1階獣医視聴覚教室

参加費：無料(学生の皆様も是非ご参加ください)

講師略歴

現職：北海道農業共済組合連合会 企画研修部研修課家畜技術研修担当 技術副主幹

経歴：1977年 石川県生まれ

2002年 北海道大学獣医学部を卒業後、北海道農業共済組合連合会に入会

現在の主な業務：

北海道内の共済組合獣医師に技術教育と牛群検診(繁殖成績向上と事故低減)の提供、子宮内細菌に着目した子宮内膜炎の診断、治療方法の確立について研究

今後の予定および終了講演

第4回 12月 8日(土) 石井 三都夫先生(帯広畜産大学准教授)

第1回 5月19日(土) 磯 日出夫先生(磯動物病院院長)

第2回 7月14日(土) 山岸 則夫先生(岩手大学教授)

問合せ先 日高 勇一(獣医外科学、0985-58-7791、yhidaka@cc.miyazaki-u.ac.jp)

北原 豪(産業動物臨床繁殖学、0985-58-7655、gkitahara@cc.miyazaki-u.ac.jp)